

新卒看護職員の就職時の「看護基本技術」の習得状況

(社)日本看護協会 新卒看護師の『看護基本技術』に関する実態調査報告書(2002年)より作成

【調査対象施設】精神病院、老人病院を除き、平均在院日数、看護職員の配置割合、新卒看護師採用状況、規模、設置主体、地域等を勘案した201施設の内、調査に同意した134施設

【調査対象看護師】対象施設に勤務する2002年4月採用者の内、新卒看護師2,110名

【調査期間】平成14年7月10日～同年8月30日

領域	項目数	入職時に「一人でできる」 70%以上	3ヶ月後「一人でできる」 50%未満	基礎教育の臨地実習で 「実施見学したことがない」 50%以上
a	環境調整技術	3	1.基本的なベッドメイキング(81.2) 2.基本的なリネン交換(75.7)	
b	食事援助技術	4		1.栄養状態、体液、電解質のバランスについてのアセスメント(17.1) 2.疾患別の食事指導(糖尿病、腎臓病、胃切除術後など)(7.5)
c	排泄援助技術	9		1.導尿(49.7) 2.ストーマケア(11.6)
d	活動・休息援助技術	7		1.松葉杖歩行についての指導(17.9) 2.良肢位の保持(46.4) 3.自動・他動運動の援助(28.2)
e	清潔・衣生活援助	7		
f	呼吸・循環を整える	6		1.血液ガス分析データの解釈(21.5) 2.体位ドレナージの援助(31.9)
g	創傷管理技術	3		1.創傷(手術創を含む)処置の介助と観察(46.1) 2.褥瘡の処置と観察(33.2)
h	与薬の技術	18	1.中心静脈栄養法の準備と介助・管理(36.3) 2.輸血の種類、血液型、氏名の確認、取り扱い(34.2) 3.輸血中、輸血後の副作用の観察とバイタルサインの測定(38.4) 4.抗生物質の用法と副作用についてのアセスメント(31.9) 5.インシュリンの種類、用法と副作用についてのアセスメント(34.2) 6.麻薬の副作用、副作用の観察、取り扱い(24.2) 7.向精神薬の副作用、副作用の観察、取り扱い(14.9) 8.毒薬、劇薬の取り扱い(21.6) 9.消毒剤の種類と作用、用途、取り扱い(33.3)	1.中心静脈栄養法の準備と介助・管理(50.4) 2.輸液ポンプの準備と管理(50.7) 3.輸血の種類、血液型、氏名の確認、取り扱い(70.8) 4.輸血中、輸血後の副作用の観察とバイタルサインの測定(72.2) 5.抗生物質の用法と副作用についてのアセスメント(59.0) 6.インシュリンの種類、用法と副作用についてのアセスメント(52.8) 7.麻薬の副作用、副作用の観察、取り扱い(72.5) 8.向精神薬の副作用、副作用の観察、取り扱い(61.8) 9.毒薬、劇薬の取り扱い(74.3)
i	救命救急処置技術	12	1.意識レベルの観察(39.9) 2.気道確保(29.0) 3.気管内挿管の準備と介助(7.5) 4.口腔内の観察、異物除去(17.2) 5.人工呼吸器の準備と方法(9.8) 6.心臓マッサージ(12.1) 7.チームメンバーへの応援要請(32.7) 8.救急カートの場所と物品内容の把握(32.0) 9.除細動器の準備と必要性の把握(6.3) 10.止血の介助(14.0)	1.気道確保(61.4) 2.気管内挿管の準備と介助(78.3) 3.口腔内の観察、異物除去(69.5) 4.人工呼吸器の準備と方法(72.1) 5.心臓マッサージ(71.5) 6.チームメンバーへの応援要請(76.3) 7.救急カートの場所と物品内容の把握(75.5) 8.除細動器の準備と必要性の把握(85.5) 9.止血の介助(79.5)
j	症状・生体機能管理技術	17	1.呼吸、脈拍、体温、血圧を正しく測定(74.7) 2.身長・体重を正しく測定(72.0)	1.症状、病態を正確に観察(28.5) 2.観察した症状、アセスメントの記録と報告(48.2) 3.動脈血採血(血液ガス)の準備と検体の取り扱い(31.3) 4.心電図(12誘導)の測定(24.2) 5.24時間持続心電図モニターの管理(29.1) 6.呼吸機能検査と説明と検査時の援助(6.9) 7.胃内視鏡検査の説明と検査時の援助(14.7) 8.気管支鏡検査の説明と検査時の援助(7.3) 9.腰椎穿刺の説明と検査の介助(11.2) 10.骨髄穿刺の説明と検査の介助(6.2)
k	感染予防の技術	7		1.スタンダードプリコーション(標準予防策)の概念の理解(33.6) 2.洗浄、消毒、滅菌の内、適切な方法の選択(30.9)
l	安全管理の技術	4		1.当該施設における医療安全管理体制の理解(30.2)
m	安楽確保の技術	3		1.対象に合わせたリラクゼーション(指圧、マッサージ、音、香りの工夫等)(39.8)
n	コミュニケーション技術	3		

【考察】1.ほとんどの施設(97.7%)が、4月に入職後、新卒看護師に対する集合教育を行い、プリセプター制を導入しているが、入職3ヶ月を経ても十分な技術習得に至っていない。

2.施設での集合教育の内容は、「救命救急処置技術」「感染予防の技術」「安全管理の技術」「与薬の技術」が多く取り上げられている。

3.基礎教育で実施経験が少なくても、3ヶ月で習得しやすい技術は、「皮下注射」「筋肉注射」「静脈内注射の準備と介助」「点滴静脈注射の準備と介助・管理」「血糖測定と検体の扱い」「誤訳防止のために手順を守り与薬できる」といった入職後頻繁に経験する技術であった。

4.配属部署によって、技術の習得に差が出ている。

5.技術習得に向けて、基礎教育と臨床での教育との連携が必要である。